

長門市制施行50周年

市長式辞



長門市長
松林正俊

本日ここに市制施行50周年の記念式典を挙行いたしましたところ、来賓各位におかれましては、公私ともにご多用のなか多数ご臨席を賜り、誠に有難く厚くお礼申し上げます。

また、本日、特別功労をはじめ、市政全般にわたる功労者として表彰を受けられます皆様は、多年にわたり市政発展のため、献身的にご尽力いただいた方々であります。その多大なご功績に対し深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

さて、本市は、昭和29年3月31日に当時の通村、仙崎町、深川町、俵山村の合併により、県下口番目の市として発足をし、本日ここに満50年の記念すべき日を迎えることとなりました。

この間、半世紀におよぶ時の流れとともに、社会や暮らしも大きく変化をするなかで、市政の歩みも幾多の厳しい諸情勢はありましたが、第1次産業の基盤整備や道路、公園、上下水道、区画整理などの都市基盤整備をはじめ、教育・文化の振興、福祉・環境対策等、市民福祉の充実にむけた諸事業の重点的な取り組みにより、今日の長門市を築くことができました。

昨年4月には、市民待望のケーブールレレが開局し、金子みずすゞ記念館がオー

ブンいたしました。これもひとえに先輩各位、市民の皆様のご熱意、ご努力、更には国、県をはじめ関係機関の深いご理解とご支援の賜物であり、ここに衷心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、現下の社会経済情勢は、景気の長期低迷等により、国、地方を問わず誠に厳しい状況にあります。

一方、少子・高齢化の進行、情報化社会の進展、循環型社会の形成、地方分権社会への対応など、地方公共団体が担うべき役割も益々増大してきており、これら諸課題に対しては、的確な対応をしなければなりません。

厳しい財政状況下ではありますが、将来をしっかりと見据えた施策の選択を行ない、長期展望に立って、市民の皆様が充実した社会生活を実感できる「住みよいまちづくり」に向けて最善の努力をして参る所存であります。

市制施行50周年の意義は、過去の歩みを顧みることなく、来たるべき次の世代に今日までの歩みをどう生かしていくかにあると思うのであります。特に本年は、長門市・大津郡1市3町の合併協議も最終段階を迎えるなど、新たな歴史を書き加えていくこととなる重要な年でもあります。

私は、先人が幾多の困難を克服して築いてこられたこの長門市を、更にすばらしい「新しいまち」に発展させるべく、これからも全力を傾注して参る所存であります。

ここに改めて、関係各位の一層のご指導とご鞭撻、更に市民の皆様のご深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに臨み、来賓各位のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げますとともに、今後、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。式辞といたします。

市議会議長挨拶



長門市議会議長
金崎修三

長門市制施行50周年記念式典にあたり、市議会を代表して一言ご挨拶申し上げます。本日は来賓の皆様方におかれましては、公私ともに何かとご多用の中をご臨席賜り、厚くお礼を申し上げます。

また、50周年を記念いたしまして、晴れの表彰を受けられます皆様方は、多年にわたり、それぞれの分野におきまして、格段のご尽力を賜り、本市発展のために大きな貢献をされました。その功績に対し、市民とともに心から敬意を表し、この場をお借りして、改めて感謝を申し上げます。

さて、我が長門市は、昭和の大合併と言われた29年、当時の4町村の合併により県下口番目の市として、山口県北西部の中核都市を目指し、市民各位の大きな期待のもとに発足しました。以来、文字通り波乱・激動の中を、時には洋々たる前途に心を躍らせながら、常に弛むことなく着実に発展を続けてまいりました。

私事で恐縮ですが、私は青海島の一角で生まれ育ちました。当時は仙崎・深川に出かけるのに、渡し舟が唯一の交通手段であり、通勤・通学に本当に不自由な思いをし、苦労したものです。昭和40年、青海大橋が完成しました。これで、歩いて本土に行けると、子ども心に喜んだこ

とを昨日のことのように思い出します。この一本の橋が島全体の生活環境にどれほどの影響を与え、また、恩恵を受けてきたかは、皆様ご承知のとおりであります。この橋の建設にあたり国・県御当局の絶大なるご理解、ご支援と市行政関係各位をはじめとする市民の熱意の賜物であったことは申すまでもありません。

このことは、長門市50年の「あゆみ」からすれば、ほんの一例に過ぎないかもしれませんが、市制施行以来、経済社会の変貌、少子高齢化の進行、情報通信の高度化や地方分権の進展など著しい時代の変遷に、幾多の困難を克服して、住民福祉の増進を基本理念に、都市基盤の整備・充実と基幹産業の振興に邁進するとともに、本市の恵まれた豊かな自然を生かした歴史・文化を育んでまいりました。

私たちは、過去と未来を繋ぐ今を生きながら、同時に大きな使命を担っており、ます。本年は、長門広域圏1市3町の合併を来年に控えて、まさに節目の年でもあり、合併への集大成の年を迎えております。世代から世代へ、先人の意志を引き継ぎ、新しい「長門市」を創造する宿命が課せられておりますが、市議会といたしましても、議会の果たす役割と責務の重要性を鑑み、議会の果たす役割とする議会の活性化に取り組んでまいります。

まだ誰も見たことのない新しい時代のうねりに、夢と希望を抱いて、本日のこの記念すべき良き日を、皆様と一緒になつて魅力ある「まちづくり」への第一歩にしたいと思っております。

ここに、長門市制施行50周年を皆様とともに慶賀し、本市発展のためにご指導、ご協力賜りました関係各位に、深甚なる感謝を申し上げますとともに、市民の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。